

令和4年度 第3回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会

議 事 録

日 時：令和5年3月10日（金） 午前10時30分～午前11時40分

会 場：本郷新記念札幌彫刻美術館 本館 研修室

出席委員：児玉聡夫（宮の森明和会会長）、高橋大作（札幌彫刻美術館友の会会長）、國松明日香（彫刻家）、森田由香理（札幌市立大倉山小学校PTA）、吉崎元章（本郷新記念札幌彫刻美術館館長）以上5名

欠席委員：渋谷一典（札幌市立三角山小学校校長）*、木戸拓史（札幌市市民文化局文化部文化振興課長）

* 渡邊裕治教頭が代理出席

所 管 課：平将士（札幌市市民文化局文化部文化振興課振興係事務職員）

事 務 局：岩崎直人（本郷新記念札幌彫刻美術館業務係長）、三枝大悟（同業務係事務職員）、平井菊花（同業務係事務職員/学芸員）

次 第：1 開会

2 議事

（1）令和4年度事業経過報告（10～2月）

（2）令和5年度本郷新記念札幌彫刻美術館主催事業

(3) 施設・管理・運営面での報告

当日配付資料：

- ・資料1 「本郷新記念札幌彫刻美術館 令和4年度事業経過報告（10～2月）」
- ・資料2 「本郷新記念札幌彫刻美術館 令和4年度入館者アンケート集計
- ・資料3 「令和5年度本郷新記念札幌彫刻美術館 主催事業」
- ・資料4 「施設・管理・運営面での報告」
- ・ほか配付物

（「サンクスデー販売物写真」、「さっぽろ雪まつり風景写真」、「さっぽろ雪まつり公式ガイド」、「視線のはなし」チラシ、「彫美連続講座」チラシ）

議事内容：

(1) 令和4年度事業経過報告（10～2月）

事務局より配付資料に基づき、令和4年度下半期の事業についてアンケート集計の結果も含めて報告を行った。

(2) 令和5年度本郷新記念札幌彫刻美術館主催事業

事務局より配付資料に基づき、令和5年度事業について説明を行った。

(3) 施設・管理・運営面での報告

事務局より配付資料に基づき、令和4年度下半期の設備修繕、除雪、苦情について報告を行った。

(4) 意見交換

高橋委員：いつも思うが、事業数に感心する。その上で提案だが、子どもを対象

として、美術館庭園の雪山から彫刻を掘り出すような、雪で隠れている下の方を想像させることをしてみたら面白いのではないか。

国松委員：「上遠野徹」展では、建物という器の方に着眼し、長らく仮設壁で隠されていた階段を露見させ、新たな発見をさせてくれたことは非常に有意義であった。また、「視線のはなし」展は、視覚芸術の原点にせまった展覧会で、解説文から作家の選定理由が読み解けたり、作品そのものを深くみることができずばらしいと思った。雪まつりについては、やっぱりほかの雪像とは違い、雪による彫刻という感じが明快に感じられてよかった。大通での展開は今後も継続してもらいたい。美術館紹介のパネルもあって意義ある催しであった。

森田委員：コロナ禍で縮小気味だった学校との連携事業もさらに深められることを期待する。

児玉委員：雪まつりのように、我々も地域として、これからも美術館と協力しながらやっていきたい。

渡邊教頭：総合的な学習の時間枠での粘土作りを通じて、いかにして像に思いを込めるか、3年生なりに感じる事ができた。それぞれが言葉で説明した映像を流したことも非常に効果的だった。半年間かけて本郷新に関する調べ学習を行い、2月末の参観懇談では、彫刻美術館並びに本郷新に関する発表会を体育館で行った。委員の皆様にも児童が調べた学習を見ていただき、お互いに交流を続けていけたらと思う。

吉崎委員：我々の力だけではなくて、作家の皆さんはもちろんのこと、学校、友の会、アートコミュニケーター、町内会、父兄の方々など多くの方々

のお力をお借りしながら、より面白い充実した活動を行っていきたい。